

縦覧版

CS宮城やくらいGC太陽光発電事業に係る
環境影響評価準備書

令和6年4月

CS宮城加美町合同会社

本環境影響評価準備書は、「環境影響評価法（平成 9 年法律第 81 号）第 14 条第 1 項及び「電気事業法」（昭和 39 年法律第 170 号）第 46 条の 10 の規定により作成したものである。

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の 20 万分 1 地勢図、電子地形図 50,000 及び電子地形図 25,000 を複製したものである。

目 次

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1(1)
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1(3)
2.1 対象事業の目的	2-1(3)
2.2 対象事業の内容	2-2(4)
2.2.1 特定対象事業の名称	2-2(4)
2.2.2 特定対象事業により設置される発電所の原動力の種類	2-2(4)
2.2.3 特定対象事業により設置される発電所の出力	2-2(4)
2.2.4 対象事業実施区域	2-2(4)
2.2.5 特定対象事業の主要設備の配置計画その他の土地の利用に関する事項	2-10(12)
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項	2-13(15)
2.2.7 切土、盛土その他の土地の造成に関する事項	2-19(21)
2.2.8 土石の捨場又は採取場に関する事項	2-27(29)
2.2.9 供用開始後の定常状態における操業規模に関する事項	2-28(30)
2.2.10 上記に掲げるもののほか、特定対象事業の内容に関する事項であって、 その変更により環境影響が変化することとなるもの	2-36(38)
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3.1-1(41)
3.1 自然的状況	3.1-1(41)
3.1.1 大気環境の状況	3.1-1(41)
3.1.2 水環境の状況	3.1-14(54)
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3.1-19(59)
3.1.4 地形及び地質の状況	3.1-23(63)
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3.1-30(70)
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	3.1-75(115)
3.1.7 一般環境中の放射性物質の状況	3.1-82(122)
3.2 社会的状況	3.2-1(125)
3.2.1 人口及び産業の状況	3.2-1(125)
3.2.2 土地利用の状況	3.2-5(129)
3.2.3 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況	3.2-9(133)
3.2.4 交通の状況	3.2-12(136)
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況 及び住宅の配置の概況	3.2-14(138)
3.2.6 下水道の整備状況	3.2-17(141)
3.2.7 廃棄物の状況	3.2-17(141)

3.2.8	環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容	3.2-20(144)
3.2.9	関係法令等による規制状況のまとめ	3.2-66(190)
第4章	計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4-1(191)
4.1	計画段階配慮事項の選定の結果	4-1(191)
4.1.1	計画段階配慮事項の選定	4-1(191)
4.1.2	計画段階配慮事項の選定理由	4-3(193)
4.2	調査、予測及び評価の手法	4-5(195)
4.3	調査、予測及び評価の結果	4-7(197)
4.3.1	反射光	4-7(197)
4.3.2	動物	4-13(203)
4.3.3	植物	4-33(223)
4.3.4	生態系	4-44(234)
4.4	総合的な評価	4-51(241)
第5章	配慮書に対する経済産業大臣の意見及び事業者の見解	5.1-1(243)
5.1	配慮書に対する経済産業大臣の意見	5.1-1(243)
5.2	経済産業大臣の意見に対する事業者の見解	5.2-1(247)
第6章	配慮書についての関係地方公共団体の長の意見及び一般の意見の概要、並びに、事業者の見解	6.1-1(249)
6.1	配慮書についての宮城県知事の意見及び事業者の見解	6.1-1(249)
6.2	配慮書についての一般の意見の概要及び事業者の見解	6.2-1(257)
6.2.1	配慮書の公表	6.2-1(257)
6.2.2	配慮書についての住民等の意見の概要及び事業者の見解	6.2-2(258)
第7章	発電設備等の構造もしくは配置、事業を実施する位置又は事業の規模に関する事項を決定する過程における環境の保全の配慮に係る検討の経緯及びその内容	7.1-1(259)
7.1	配慮書における対象事業の内容と計画段階配慮事項の検討結果	7.1-1(259)
7.1.1	配慮書における第一種事業の内容	7.1-1(259)
7.2	方法書までの事業内容の具体化の過程における環境の保全の配慮に係る検討の経緯及びその内容	7.2-1(279)

7.2.1	配慮書における検討結果	7.2-1(279)
7.2.2	配慮書提出後の事業計画の検討の経緯	7.2-1(279)
7.3	準備書における対象事業実施区域の一部変更に関する検討の経緯及び見解	7.3-1(290)
7.3.1	対象事業実施区域の変更箇所	7.3-1(290)
7.3.2	当該変更に至った経緯及び理由	7.3-3(292)
7.3.3	当該変更の妥当性に関する見解	7.3-11(300)
第8章	方法書についての意見と事業者の見解	8-1(311)
8.1	方法書についての住民等の意見の概要及び事業者の見解	8-1(311)
8.1.1	方法書の公告及び縦覧	8-1(311)
8.1.2	方法書の環境保全の見地からの提出意見の概要と事業者の見解	8-5(315)
8.2	方法書についての県知事意見及び事業者の見解	8-7(317)
8.2.1	方法書についての宮城県知事意見	8-7(317)
8.2.2	方法書についての宮城県知事意見に対する事業者の見解	8-13(323)
第9章	方法書に対する経済産業大臣の勧告	9-1(327)
第10章	対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	10.1-1(335)
10.1	環境影響評価の項目の選定	10.1-1(335)
10.1.1	環境影響評価の項目	10.1-1(335)
10.1.2	選定の理由	10.1-5(339)
10.2	調査、予測及び評価の手法の選定	10.2-1(341)
10.2.1	調査、予測及び評価の手法	10.2-1(341)
10.2.2	選定の理由	10.2-1(341)
10.2.3	専門家等からの意見の概要	10.2-91(431)
第11章	環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法についての 経済産業大臣の助言	11-1(439)
第12章	環境影響評価の結果	12.1.1-1(441)
12.1	調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	12.1.1-1(441)
12.1.1	大気環境	12.1.1-1(441)
1.1	大気質(粉じん等)	12.1.1-1(441)

(1) 調査結果の概要	12. 1. 1-1 (441)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 1-6 (446)
2. 騒音	12. 1. 1-19 (459)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 1-19 (459)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 1-26 (466)
3. 振動	12. 1. 1-45 (485)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 1-45 (485)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 1-49 (489)
12. 1. 2 水環境	12. 1. 2-1 (499)
1. 水質（水の濁り）	12. 1. 2-1 (499)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 2-1 (499)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 2-10 (508)
12. 1. 3 その他の環境	12. 1. 3-1 (519)
1. 重要な地形及び地質（地形及び地質）	12. 1. 3-1 (519)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 3-1 (519)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 3-13 (531)
2. 土地の安定性（地盤）	12. 1. 3-17 (535)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 3-17 (535)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 3-29 (547)
3. 反射光（その他）	12. 1. 3-31 (549)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 3-31 (549)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 3-38 (556)
12. 1. 4 動物	12. 1. 4-1 (565)
1. 重要な種及び注目すべき生息地	12. 1. 4-1 (565)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 4-1 (565)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 4-130 (694)
12. 1. 5 植物	12. 1. 5-1 (745)
1. 重要な種及び重要な群落	12. 1. 5-1 (745)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 5-1 (745)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 5-33 (777)
12. 1. 6 生態系	12. 1. 6-1 (791)
1. 地域を特徴づける生態系	12. 1. 6-1 (791)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 6-1 (791)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 6-52 (842)
12. 1. 7 景観	12. 1. 7-1 (855)
1. 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	12. 1. 7-1 (855)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 7-1 (855)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 7-27 (881)
12. 1. 8 人と自然との触れ合いの活動の場	12. 1. 8-1 (925)
1. 主要な人と自然との触れ合い活動の場	12. 1. 8-1 (925)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 8-1 (925)

(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 8-13 (937)
12. 1. 9 廃棄物等	12. 1. 9-1 (943)
1. 産業廃棄物	12. 1. 9-1 (943)
(1) 予測及び評価の結果	12. 1. 9-1 (943)
2. 残土	12. 1. 9-6 (948)
(1) 予測及び評価の結果	12. 1. 9-6 (948)
12. 1. 10 放射線の量	12. 1. 10. 1 (951)
1. 放射線の量（粉じん等の発生に伴うもの）	12. 1. 10. 1 (951)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 10. 1 (951)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 10-4 (954)
2. 放射線の量（水の濁りの発生に伴うもの）	12. 1. 10-6 (956)
(1) 調査結果の概要	12. 1. 10-6 (956)
(2) 予測及び評価の結果	12. 1. 10-13 (963)
3. 放射線の量（産業廃棄物及び残土の発生に伴うもの）	12. 1. 10-14 (964)
(1) 予測及び評価の結果	12. 1. 10-14 (964)
12. 2 環境保全のための措置	12. 2-1 (965)
12. 2. 1 環境保全のための措置の基本的な考え方	12. 2-1 (965)
12. 2. 2 環境保全措置の検討の経過及び結果	12. 2-2 (966)
12. 2. 3 環境保全措置の検討結果の整理	12. 2-10 (974)
12. 2. 4 環境保全措置に係る環境監視計画	12. 2-30 (994)
12. 3 事後調査	12. 3-1 (997)
12. 3. 1 事後調査	12. 3-1 (997)
12. 3. 2 検討結果の整理	12. 3-4 (1000)
12. 4 環境影響の総合的な評価	12. 4-1 (1005)
 第 13 章 環境影響評価を委託した事業者の名称、代表者の氏名及び主たる 事務所所在地	 13-1 (1031)

(空白)